

令和7年度国立大学法人東京海洋大学第7回教育研究評議会議事要録

日 時 令和7年11月4日（火）15時54分～17時01分

場 所 白鷹館2階多目的スペース1（品川地区） 及び Webex によるビデオ会議

出席者 井関学長、

舞田理事（兼：学術研究院長）、南理事、村上理事（兼：事務局長）、
妻副学長、

小暮海洋生命科学部長、久保海洋工学部長、

宮本海洋資源環境学部長（兼：附属図書館長）、北出海洋科学技術研究科長、

佐野評議員、遠藤評議員、神谷評議員

オブザーバー：藤原監事、加藤監事、

廣野学長補佐、横田学長補佐、

坂本水圏科学フィールド教育研究センター長、

吉崎放射性同位元素管理センター長（兼：水圏生物生産工学研究所長）

竹縄海運ロジスティクス専攻主任

事務担当者：佐瀬総務部長、深松財務部長、笹田学務部長 ほか事務関係者

議事に先立ち、前回会議の議事要録（案）を確認した。

審議事項

1 令和7年度研究活動等に関する学長表彰について

舞田理事から、資料1に基づき、令和7年度研究活動等に関する学長表彰について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

2 国際交流協定の締結について（フィリピン：ホリー・ネーム大学）

舞田理事から、資料2に基づき、国際交流協定の締結について（フィリピン：ホリー・ネーム大学）について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

報告事項

1 令和7年度4月及び10月の大学院入学者数の報告について

南理事から、資料3に基づき、令和7年度4月及び10月の大学院入学者数の報告について、報告があった。

大学院博士前期課程海運ロジスティクス専攻の定員充足率が低いことにかかる対応方針について、久保海洋工学部長及び竹縄海運ロジスティクス専攻主任より、現在の取組み状況及びその効果について報告があった。また、北出研究科長から、次の審議の材料になると考えるので、各専攻における適切な定員数の割合について調べておきたい旨の発言があった。

2 諸会議等の報告について

（舞田理事）

- ・グローバル教育研究推進委員会

(南理事)

- ・ 全学教育・FD 委員会
- ・ 学生支援委員会

以上

(配付資料)

○令和 7 年度国立大学法人東京海洋大学第 6 回教育研究評議会議事要録 (案)

資料 1 令和 7 年度研究活動等に関する学長表彰受賞者の決定について (案)

資料 2 国際交流協定の締結について (フィリピン：ホリー・ネーム大学)

資料 3 令和 7 年度 4 月及び 10 月入学者選抜状況 (大学院)